

改修部品一覧

No.	部品名	部品コード	個数
1	ホイールブレーキ(左)	J381-000151	1
2	ホイールブレーキ(右)	J381-000161	1
3	ワリピン	900300-20015	2

手順 項目と作業内容

使用工具(参考)

1 下記ジャッキアップ方法を参考にジャッキアップを行ってください。

・ジャッキ
・馬台

ジャッキアップ方法

1. 本機をジャッキアップして架台に載せる時の手順は下記の通りです。

① 前側を上げる → ② 後ろ側を上げる

2. 架台から降ろす時の手順

① 後側を降ろす → ② 前側を降ろす

注意

下記の手順を守らないと、機体が傾き事故や怪我に繋がります。



3. 前側のジャッキアップと架台を掛ける位置は写真の通りです。

ジャッキは、フロントアクスル中心のデフケース部分に掛けること

ジャッキが機体の下に入らない場合は、下写真のように木端又はスロープ等を用いて、最低地上高を確保すること。

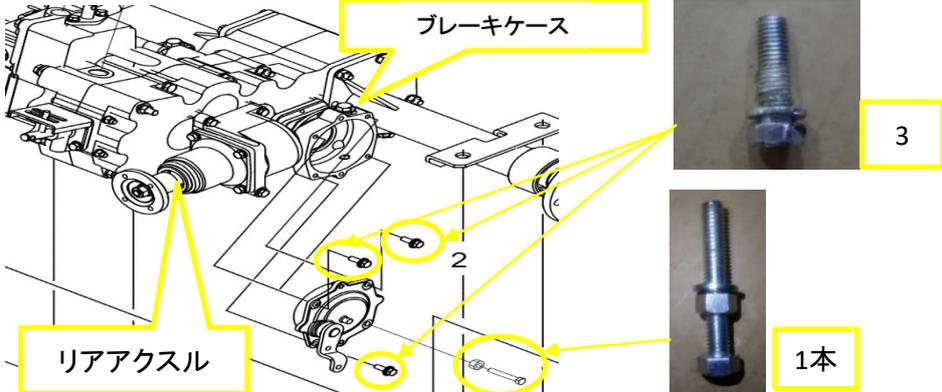
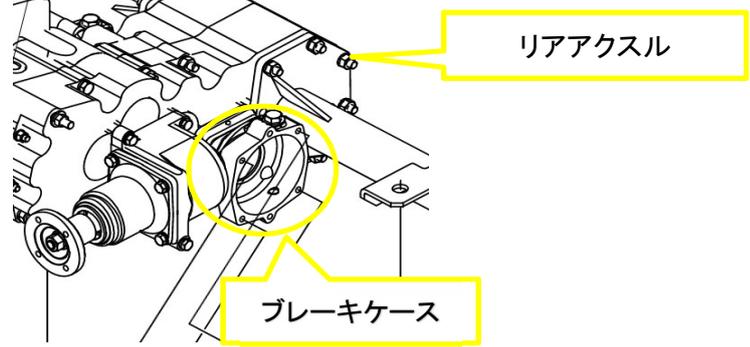
前側の馬台を掛ける位置は、下写真の位置にしてください。



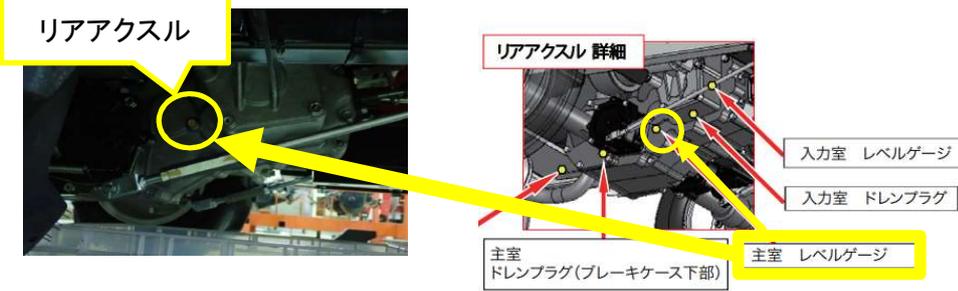
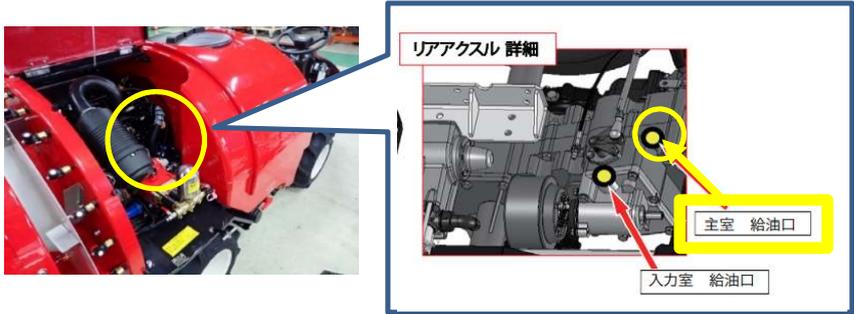
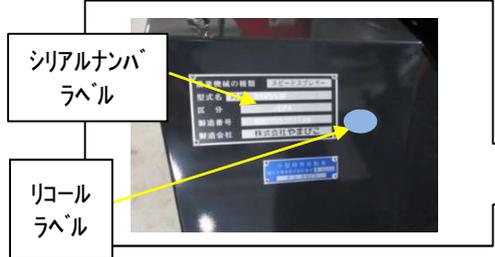
4. 後側のジャッキアップと馬台を掛ける位置は下写真の通りです。



ジャッキは、リアアクスル中心のデフケース部分に掛けること

手順	項目と作業内容	工具(参考) 2/4頁
2	<p>ブレーキケース下部のオイルドレンプラグを外し、オイルを抜きます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・14mmメガネレンチ ・オイル受け
3	<p>ワリピン、ワッシャ、ピンを外しブレーキロッドを外します。 テンションスプリングを外します。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオペンチ
4	<p>ホイールブレーキを固定しているM8ボルト4本を外します。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・12mmスパナ ・12mmソケットレンチ
5	<p>ブレーキケースからホイールブレーキを取り外します。 ※取り外した際、ブレーキケースのノックピンがホイールブレーキ側に組み付いた状態になる事があります。その際にはホイールブレーキからノックピンを抜き取り、ブレーキケース側へ組み付け直して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナスイヤ ・ハンマー ・プライヤー
6	<p>ブレーキケースのホイールブレーキとの合わせ面とボルト穴を洗浄、脱脂します。 合わせ面にキズ等による凸がある場合、ヤスリで均してください。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエス ・パーツクリーナー ・ヤスリ

手順	項目と作業内容	工具(参考) 3/4頁
7	<p>新品のホイールブレーキのブレーキケースとの合わせ面全面に液状ガスケット(TB1207D相当品)を塗布します。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 液状ガスケット TB1207D相当品
8	<p>ブレーキシューの凹凸を揃え、ホイールブレーキをブレーキケースへ組み付けます。面同士が接触するまで手で押し込みますが、途中で引っかかる場合にはブレーキシューの凹凸が揃っていない可能性があるため、一度取り外して、ブレーキシューの凹凸を揃えてから再度組付けを行ってください。</p> 	
9	<p>手順4を参考にM8ボルト4本を25~35N・mで締め付けてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 12mmスパナ 12mmソケットレンチ トルクレンチ
10	<p>手順3を参考に新品のワリピンを用いて、テンションスプリング、ピン、ワッシャとブレーキロッドを組み付けてください。 手順2を参考にブレーキケース下部のドレンプラグを組付けてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ラジオペンチ 14mmメガネレンチ
11	<p>手順2~10を参考にもう片側のホイールブレーキを交換してください。</p>	

手順	項目と作業内容	工具(参考) 4/4頁
12	<p>オイルを入れるため、機体を水平状態とし、リアアックスルの主室レベルゲージ下部へオイル受けを設置します。主室レベルゲージのプラグを外します。</p>  <p>主室給油口のキャップを外し、ギヤオイルAPI GL-4を補充してください。オイル規定量は4.8ℓで主室レベルゲージからオイルが出てくるまで補充してください。</p>  <p>主室レベルゲージから出てきたオイルをふき取り、プラグを元に戻します。主室給油口のキャップを取り付けます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12mmソケットレンチ ・ギヤオイルAPI GL-4 4.8L
13	<p>車体を馬台から降ろしてください。</p>	
14	<p>ブレーキ連結を解除し、左右のブレーキペダルをそれぞれ10回踏んだ後、ブレーキペダルの遊びを確認します。左右の遊びが均等で40～50mmの中に入っていることを確認してください。</p>   <p>左右の遊びが均等でない場合はブレーキロッドで遊びを調整してください。</p>  <p>エンジンを始動し、走行を行い、ブレーキペダルを踏んだ際に車体が停止することを確認してください。また、リアアックスル各部よりオイル漏れがないか確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・17mmスパナ 2本
15	<p>作業終了後、シリアルナンバーラベル付近にリコールラベルを貼り付けてください。</p>  	

SSV553 SSV654 SSV5045 ホイールブレーキ改修チェックシート

実施日 20 年 月 日

作業者名 _____

営業所(管内) _____

型式 SSV553 SSV654 SSV5045

仕様 F FKN F/EP F/EPKN F/A F/EPA F/HT

シリアルNo. _____

使用時間 _____

備考

【交換作業】※作業要領書に従って確認し、チェックマーク(レ点)を記載願います。

確認項目	実施
1. ホイールブレーキに液状ガスケットを塗布し、25～35N・mで締め付け	<input type="checkbox"/>
2. ブレーキロッド、テンションスプリング、ピン、ワッシャ、ワリピン組付け	<input type="checkbox"/>
3. ドレンプラグ組付け	<input type="checkbox"/>
4. ギヤオイル API GL-4をリアアクスル 主室レベルゲージまで給油	<input type="checkbox"/>
5. 主室レベルゲージプラグと主室給油口のキャップ組付け	<input type="checkbox"/>
6. 左右のブレーキペダルの遊びが均等で遊びが40～50mmであること	<input type="checkbox"/>
7. エンジンを始動し、走行を行い、ブレーキペダルを踏んで車体が停止すること	<input type="checkbox"/>
8. リアアクスル各部よりオイル漏れなきこと	<input type="checkbox"/>
9. リコールラベル貼り付け	<input type="checkbox"/>

作業終了後、このチェックシートをWEBワランティの申請に添付して報告してください。